

機関紙拡大で先駆!

12月から「機関紙拡大運動 集中期間」(来年2月まで)が始まる。取り組みは①全議員が実配目標を達成の分会10ヶ所支部で有権者比1%をめざす―の三つ。機関紙を通じて党勢拡大に先駆しようとして22日、各地で活発に党員の集いが開催された。写真ほう面

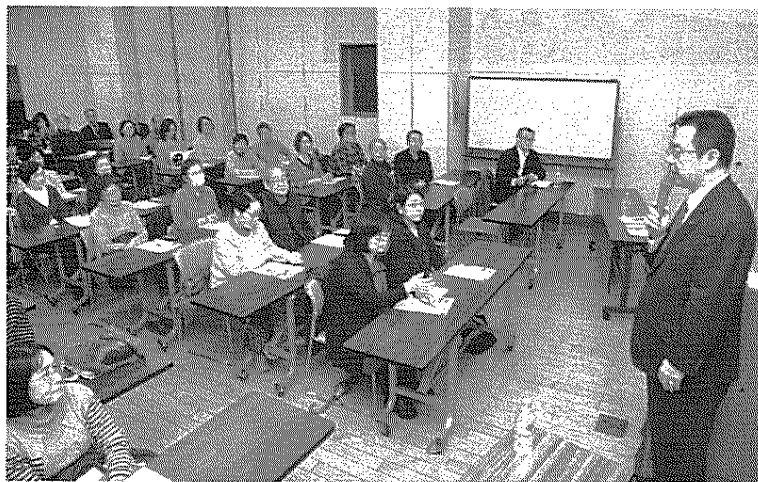
【東京】公明党の高木陽介衆院議員は、東京都目黒区内で開かれた党目黒総支部東山支部(川原伸昭支部

12月から「集中期間」各地で活発に党員の集い

長(区議)の支部会に出席した。役割は今も変わらない」と強調。

高木氏は日頃からの機関紙推進への奮闘に謝意を述べた上で、公明新聞が党結党に先立ち創刊された歴史に触れ、「党の歩みは常に公明新聞と共にあり、そのための飛躍台にしていこう」と語った。

また、公明新聞が与党唯一の日刊紙であるという強みに言及し、「新聞を拡大し、次への戦いに勝利するための飛躍台にしていこう」と語った。



公明新聞の役割について訴える高木氏=22日 東京・目黒区